

市川市立南行徳小学校学校だより



南行通信

自分もみんなも大切にする子供を育てる

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和7年5月13日

校長 中村 由美子



校庭の竹から「タケノコ」が顔を出し始めました。翌日にはぐんと伸びるタケノコに子供たちが「すごい、こんなに大きくなった」と感嘆の声を上げていました。

さて、5月の連休も終え、いよいよ運動会の練習が始まりました。先日の新聞記事に「みんなで同じことをする」「友達とあわせる」「負けるのが嫌だ」などの思いから運動会の練習が辛く、登校渋りがはじまることもある、という内容が書かれていました。反面、学校には「勉強の時間が少なくなるからうれしい」「かけっこが好き、ダンスが好きだから楽しい」「リレーで友達を抜かしたい」「大変だけど、終わった後頑張ったなあと思う」など、前向きにとらえている子もいます。運動会という大きな行事は、友達と力を合わせる喜びや一生懸命やり切った達成感など、運動会でしか味わえない経験をし、一回り成長する行事です。しかし、運動会に対して辛い思いを持つ子がいることも理解し「うまくいかないこともある」「うまくできなくてもいい」と声をかけていきます。一人一人が、それぞれの成長へつながるよう応援していきます。

さやむき体験(1年生)

12日、1年生がソラマメのさやむきをしました。

経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することを目的とした「食育」の一つです。「ソラマメは苦手」という子供も多くいます。ソラマメのさやはふかふかのベッドとなって豆の成長を守っていることを知った子供たちは一生懸命さやむきをしていました。1年生全員で1670粒をむきました。給食では、一人2粒でしたが、「おいしかったよ」「初めて食べた」などの声がありました。また、給食委員さんが、毎日今日の給食についての豆知識を放送しています。様々な経験を通して、食育を行っていきます。



福祉教育について

今年度から、南行徳中学校・富美浜小学校・新井小学校とともに「福祉教育推進校」の指定を受け、教育活動を行います。日頃見過ごしてしまう日常生活の問題に気付き、自分と他者のよりよい生活を考える教育活動を通して、自分や他者のしあわせを考え、すべての人と対等にかかわれる力を育てることを目的に学習します。「ふだんの くらしを しあわせに」することはどんなことかを考える活動を行います。その一つとして、4年生が「ブラインドウォーク体験」を行いました。いつも使っている階段を目隠ししてのぼる体験では、いつもとは違う怖さやとまどいを感じていました。



ぽかぽかルームとなかよしルームの利用方法について

これまで「なかよしルーム」では、「ゆとりぎ相談員」の在室日には休み時間にくつろいだり、相談にのってもらったりしていました。

今年度から「なかよしルーム」とともに「ぽかぽかルーム」を校内教育支援センターとして運営します。「学校に行きたいけれど、教室には行きにくい」「教室とは違う場所で静かに勉強したい」といった状況にある子供を支援する場所となります。「ここでなら安心できる」「ここなら登校できる」と思える校内の居場所となり、エネルギーを蓄え、前に進む力につながる場所にしていきたいと考えます。開設時間は、8時15分から下校までです。利用を希望する場合は、教頭までご連絡ください。

名札着用をお願い

おうちの方が、忘れ物を届けたりお迎えにいらしたりした場合、名札の着用をお願いいたします。名札がない場合は、職員玄関で来校者名簿を記入し、来校者用名札を着用してください。